



〒108-0071
港区白金台 3-7-1
(3443)
5666



<http://shirokanedai-kj.minato-kyo.ed.jp/>
「ふれあいどうぶつむら」



「好き」が「大好き」になるとき

園長 新井 智子

年中4歳児は、幼稚園に来た移動動物園を体験し、ヒツジやヒヨコなど可愛い動物たちに触れました。その時の温かさや柔らかさに感激し、すぐに人形をつかったり絵にかいたりする姿が見られました。子どもたちは、柔らかさを表現するためにカラービニールや詰め物を使い、ふわふわ感を出しました。実際の動物への思いが強かったので、時間をかけ細部にこだわって丁寧に作る姿が見られました。出来上がるととても愛おしそうに抱いたりやさしく話しかけたりして、まるで弟妹のように愛着をもっていることが分かります。

年長5歳児は、「わくわく劇場」に向けて本格的な取り組みが始まりました。劇は題材から話し合い、いくつかの候補から子どもたちが選びました。限られた時間内に、どのように表現していくか、もちろんシナリオなどなく、すべて子どもたちが考え、教師の援助を受けながらつくっていくのです。どの場面を劇にいれていくか、せりふや動きをどうしていくか、役決め、大道具づくり、裏方の仕事など、決めていくこと、つくるものは山のようにあります。時には、考えの違いに揉めたり、なかなか進まず暗礁に乗り上げたりしながら、一つの劇が出来上がっていくのです。劇や表現遊びは、子どもたちが好きな遊びです。けれどこの「好き」という気持ちに「友達と協力してできた!」「大変なこともあったけれど、楽しかった」と、紆余曲折、試行錯誤して到達した思いが加わると、何にも代えられない満足感と達成感が生まれます。そして、仲間のありがたさ、表現の楽しさが倍増され、「劇の本当の面白さ」が実感できます。

動物づくりも劇づくりも時間をかけ、手間をかけ、問題を乗り越えた時、「好き」が「大好き」になるのではないのでしょうか。年長組の集大成である「わくわく劇場」。子どもたちの創意や表現が伸びやかに披露されることを願っています。

< 12月の指導のねらい >

3歳児

- 自分の思いを言葉や動きで表しながら、友達と同じ場で関わったり遊んだりすることを楽しむ。
- 学級の友達と簡単なルールのある遊びの中で、友達と触れ合い、伸び伸びと体を動かすことを楽しむ。
- 衣服の調節や上着の着脱など、冬の生活に必要なことを知り、できることを自分でやってみようとする。

4歳児

- 自分の思いを伝えたり、相手の言葉や動きを受け止めたりしながら、友達と関わって遊ぶ楽しさを感じる。
- 自分なりのイメージやめあてに向かって遊びに取り組み、繰り返し試したり工夫したりする。
- 自分たちの生活に必要なことに気づき、友達と一緒に取り組む。

5歳児

- 共通の目的に向かって自分の力を十分に発揮し、友達と協力して活動を進め、やり遂げた達成感や一体感を味わう。
- 遊びや活動の中で自分なりのめあてをもち、繰り返し挑戦したり、粘り強く取り組んだりする。
- もちつきや大掃除などを通して、年の暮れの雰囲気を感じ、新しい年を迎える準備をする。



